

ID ^{注1)}	031110	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／泊平サブモニタリングサイトの毎木調査						発行年月/報告年月	
							2004年	2月
							資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所	委託機関	内藤俊彦(静岡県在住)
------	----------------------	------	-------------

調査開始年		調査期間	～
-------	--	------	---

調査頻度 ^{注2)}	— — —	調査時期 ^{注2)}	秋 — —
---------------------	-------	---------------------	-------

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	IIA 大区分 ^{注2)} 1 小区分 ^{注2)} (1)
----------	------------	-------------------	---

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
------------------------	---------

核心地域 緩衝地域 周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■調査目的
 世界遺産白神山地を代表する森林はブナ林である。ブナ林の生態系がどのような状況であるかを調査し、ブナ林の保護管理に資する目的で、調査地を主調査地と副調査地を設置することにした。副調査地は秋田県と青森県の県境に位置するニツ森(1086.1m)の西向き斜面の風衝地ブナ林とニツ森(1086.1m)の北側直下に位置する赤石川源頭部の緩傾斜地である泊平の平坦地ブナ林の2カ所に調査区を設置し、ブナ林の動態を比較することにした。
 また、設置された調査区について地衣類、蘇苔類を含めた植物の動態を継続調査したい。さらに、動物類も含めてブナ林の生態系の動態を把握することを目的とする。

■調査方法
 海拔高度835mの泊平の120m×60m内に生育する胸高直径4cm以上の樹木について位置、樹高、下枝高、胸高直径、樹冠の広がりなどを測定した。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

調査区とした120m×60m内に生育する胸高直径4cm以上の樹木はブナ、ハウチワカエデ、オオカメノキ、サワグルミなど19種類888本であった。白神山地の植生を代表するブナは107本であり、最も多かったのは亜高木層や低木層を構成するオオカメノキであった。
 沢筋など湿った地に森林を形成するサワグルミは56本であった。
 ブナの胸高直径階分布は、最大胸高直径は103.6cmであり、100cm以上のブナは3本であった。胸高直径は20cm以下と60～80cmの所にふた山が認められた。

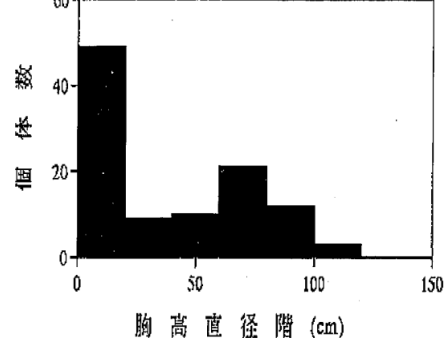


図6. 泊の平モニタリングサイトのブナの胸高直径階分布図

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ※「原本(データ)の帰属について」
-------	--

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

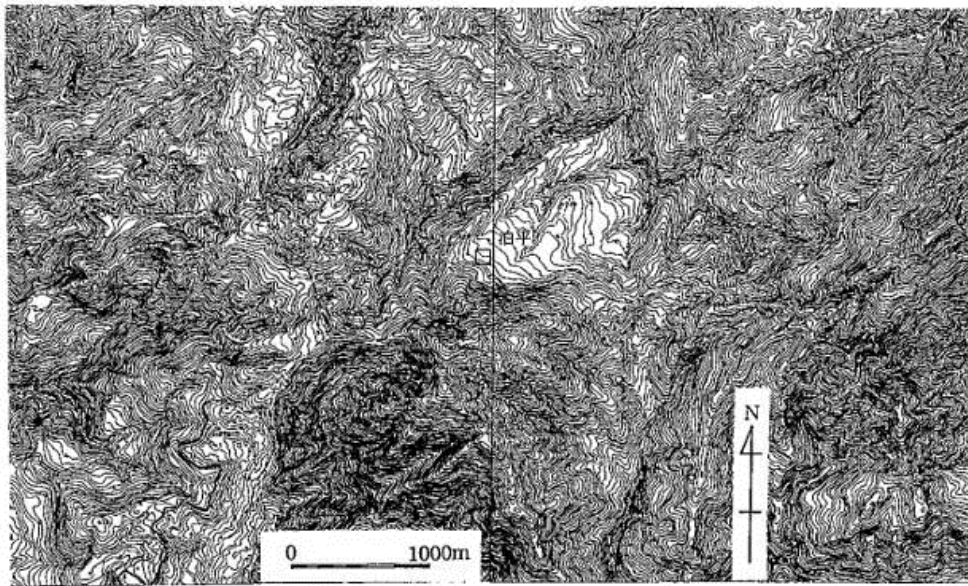


図5. 泊の平サブエリアモニタリングサイトの位置